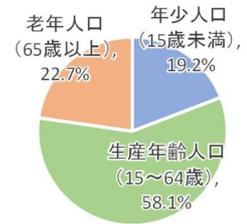


	世帯数	人 口	年 齢 別 人 口
現 在	508 世帯	1,300 人	15 歳未満 (年少人口) 253 人
			15～64 歳 (生産年齢人口) 768 人
			65 歳以上 (老年人口) 300 人
約 50 年前	296 世帯	1,121 人	



10 年間の推移

歴史等

江戸初期に開発されて「福崎新村」として成立しました。『神崎郡誌』によると、三木城主別所長治の家臣・志水弥右衛門貞治が元和年間（1615～1624）に開墾して開かれたとされます。共同墓地の入口には、「當村開租」「志水孫右衛門塔」と記された墓碑が残されています。正保年間（1644～1648）の『正保郷帳』には見えず、元禄年間（1688～1704）の『元禄郷帳』には「馬田村枝郷、福崎新村」とあります。姫路藩領で、大庄屋組は山崎組に属しました。水田は川掛りで、しばしば水害を被ったと思われます。『兵庫県播磨国地種便覧』によると、明治14年（1881）の戸数は107戸・人口は495人でした。明治22年（1889）に福崎村の大字となりました。



新町天満宮



武者絵図・昭和14年奉納（新町天満宮）



秋祭り・屋台



題目塔（北の宝塔）



イチョウ



志水孫右衛門塔（新町墓地）

※現在の人口・世帯数・年齢別人口は令和4年5月末時点、10年間の人口・世帯数の推移は各年5月末時点、約50年前の人口・世帯数は昭和52年6月末時点であり、いずれも住民基本台帳による値です。なお、年齢別人口のみ外国人を含む値になっています。

## 歴史文化遺産一覧

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり					
				①	②	③	④	⑤	⑥
建造物 石造物	1 題目塔（新町路傍）	明和2年 (1765)	正面には「南無妙法蓮華経法界万霊」、基礎には「右北条 左生野」と記され、題目塔と道標の機能を併せ持つ。村に疫病が入らないように建てられた宝塔の一つ（北出入口の宝塔）。				●		
	2 題目塔（新町墓地）	明治4年 (1871)	正面には「南無妙法蓮華経高祖日蓮大菩薩」、右には造立年月等、左には施主等の名が記されている。				●		
	3 題目塔（七種川河畔）	不明	正面には「南無妙法蓮華経」、左には施主が記されている。				●		
	4 読誦塔（新町墓地）	天保15年 (1844)	正面には「奉読誦妙経二千五百部成就」と記され、左に造立年月日が記されている。				●		
	5 一字一石塔（新町路傍）	文政13年 (1830)	正面には「南無妙法蓮華経日蓮大菩薩」、右に造立年月日等、左に「天下泰平国家安全 五穀豊穰万民快樂」、背面には本願人の名などが記されている。村に疫病が入らないように建てられた宝塔の一つ（東出入口の宝塔）。				●		
	6 一字一石塔（新町墓地）	天保11年 (1840)	正面には「南無妙法蓮華経日蓮大菩薩」、右に「天下恭平万民快樂」、左に「奉敬写一字一石塔」、背面に造立年月日等が記されている。				●		
	7 題目供養塔（新町路傍）	天明4年 (1784)	正面には「南無妙法蓮華経日蓮大菩薩」、台座の正面には「法界」、基礎の正面には「万霊」の文字が記されている。かつては別の場所にあり、何度か移転して現在地に至る。村に疫病が入らないように建てられた宝塔の一つ（南出入口の宝塔）。				●		
	8 石灯籠（新町天満宮）	明治43年 (1910)	左右一対の石灯籠（境内の本殿を挟んで南北に位置する）。左右ともに正面に「献灯」の文字とともに願主5名の名が記され、側面に造立年月が記されている。				●		
	9 石灯籠（七種川河畔）	不明	常夜灯型の道標。正面には「三宮大明神」と記され、基壇の右に「左ほう条」、左に「右志そう 南ひめち」と記されている。現在は福崎新町の七種川脇にあるイチョウの木の横に位置する。元は神姫バス福崎営業所付近にあったもの。				●	●	

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

新 町

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり						
				①	②	③	④	⑤	⑥	
建造物 石造物	10	手水石（新町天満宮）	大正3年 (1914)	手水石。正面に「奉納 漱盥」と記されているが、その他の文字は判読できない。左に造立年月・取次人が記されている。				●		
	11	児島卯蔵頌徳碑（新町墓地）	大正3年 (1914)	児島卯蔵の顕彰碑（頌徳碑）。正面には「墓厥徳」と記されている。				●		
	12	戦歿者墓碑（新町墓地）	昭和26年 (1951)	正面には「大東亜戦争 戦歿者墓碑 昭和二十六年十月建之新町区」と記されている。						●
	13	新町表溝改修碑	昭和35年 (1960)	正面には表溝改修の主旨・由来等が記されている。			●			
	14	新町井堰改修記念碑	昭和37年 (1962)	正面には「記念碑」と記されている。			●			
	15	玉垣建設記念碑（新町天満宮）	明治43年 (1910)	玉垣の建設を記念して建てられた石碑。				●		
	16	墓地移転由来碑（新町墓地）	昭和47年 (1972)	墓地移転の由来が記された石碑。				●		
	17	道標（新町路傍）	天明5年 (1785)	七種道の道標。正面には「右 たしま左 なくさ 道」と記されている。以前は旧神姫バス福崎営業所の角に位置した。						●
	18	志水孫右衛門則治の碑（新町墓地）	明暦3年 (1657)	墓碑。元和9年（1623）、三木城主別所長治の家臣・志水孫右衛門則治が浪人となって来住し、松林や荒地がであった新町区の土地の開拓に心血を注いだ。その功績をたたえて建てられた碑で、「妙法 照光院了閑 智月院妙了」、「當村開租」、「志水孫右衛門塔」の文字が記されている。				●		
	19	墓碑（新町墓地）	元禄13年 (1700)	墓碑。正面には「妙法蓮向信士」と記されている。				●		
	20	墓碑（新町墓地）	元禄16年 (1703)	墓碑。正面には造立年月日とともに「南無妙法蓮華経□□□□霊位」と記されている。				●		
	21	墓碑（新町墓地）	元禄17年か (1704)	墓碑。正面には「深功院宗真日徳 修徳院顕妙」と記されている。				●		
	22	森君碑（新町墓地）	大正7年 (1918)	墓碑。正面には「森君碑」と記されている。				●		
23	西宝塔	不明	題目塔と並んで設置されている小さな宝塔。村に疫病が入らないように建てられた宝塔の一つ（西出入口の宝塔）。				●			

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり							
				①	②	③	④	⑤	⑥		
美術工芸品	絵画	24	俳諧額（新町天満宮）	明治 21 年 (1888)	奉納者は不明。一句点高相撲集大功記十段目抜文。135×360 cm。	●			●		
		25	俳諧額（新町天満宮）	明治 21 年 (1888)	奉納者は不明。新結一句点高相撲集。135×360 cm。	●			●		
		26	武者絵図（新町天満宮）	大正 15 年 (1926)	画家は「奥村作次」とあり、奉納者 24 名、世話（発起）人 3 名。120×186.5 cm。	●			●		
		27	乳牛図（新町天満宮）	大正 15 年 (1926)	奉納者は「新町 尾上甚作」とある。91×102 cm。	●			●		
		28	筑紫袖の塔綱敷大神前口写図（新町天満宮）	大正 15 年 (1926)	奉納者 3 名。87×120 cm。	●			●		
		29	武者絵図（新町天満宮）	昭和 14 年 (1939)	奉納者は「志水蔵四郎」とある。武運長久。86.5×105 cm。	●			●		
		30	管原道真図（新町天満宮）	昭和 56 年 (1981)	画家は「貞成」とあり、奉納者 8 名の名がある。106.5×152 cm。	●			●		
		31	浄瑠璃会額（新町天満宮）	大正 14 年 (1925)	奉納者は不明。世話人 12 名の名がある（うち 1 名会元）。福崎倶楽部清水秀吉追善。49×88.5 cm。	●			●		
有形の民俗文化財	祭具	32	新町区有文書	—	47 件（点数不明）。		●				
		33	屋台（新町区）	—	神輿屋根型屋台。平成 29 年（2017）に 28 年ぶりに屋台を新調。露盤は四天王を配し、周りを龍が渦巻く。				●		●
無形の民俗文化財	年中行事・民俗芸能	34	秋祭り（福崎）	—	福崎地区・高岡地区の屋台 13 台（布団屋根型 6 台、神輿屋根型 7 台）が二之宮神社に集まる。本宮では、宮元である山崎屋台が 12 台の屋台を JR 福崎駅前へ迎えに行き、福崎駅前屋台が練り上げられた後、二之宮神社に宮入りする。拝殿で神事が行われ、五穀豊穡が祈願された後、宮出しが行われる。山崎の木方による合図で一斉に屋台が動きだし、練り合わせを行う「13 台サラバ練り」は見どころである。			●	●		●
		35	初詣	—	1 月 1～3 日に新町天満宮で行われる。				●		

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり						
				①	②	③	④	⑤	⑥	
無形の民俗文化財	年中行事・民俗芸能	36	初天神祭	—	1月25日に新町天満宮で行われる。1年の学業成就、厄除け、家内安全、交通安全を願う行事。新町天満宮で祈禱が行われる。					
		37	斎灯・とんど	—	2月3日に新町天満宮で行われる。					
		38	宝塔祭	—	4箇所の上に疫病が入らないように宝塔が建てられている。山崎区妙法寺の住職が各宝塔で拝む。村人は家から近い宝塔に集まる。					
		39	虫送り	—	かつて、6月田植えの頃に実施していた。各家から松明を準備し、夕刻に新村寄せ太鼓により、大堤に集合し、一斉に点火する。太鼓とかね、ワラ人形を竹の先に取り付け、わら人形を先頭に「さねもりさん先立、稲の虫おともせい」と言いながら前川沿いに下庄の消防署西・村の境界まで送り、一斉に焼いて終わる。子どもを中心に60～80人程が参加していた。					
		40	夏まつり	—	7月25日に新町天満宮で行われる。神事後、境内にて子ども会や老人クラブ等の各種団体が、飲食、バザーを提供して区民の交流が図られる。					
	41	さなぼり	—	かつて、田植えが終わった後に、自分の家の田んぼの畔の十字路に、灰俵のふた（ワラ製・円盤状）に御幣（赤と白）を立て、赤飯のにぎり2～3個を作って、田んぼの神様にお礼・感謝を伝えていたという。現在は行われていない。						
その他の無形の民俗文化財	42	寄せ太鼓	—	かつて、非常時に住民を招集・避難させたり、祭りや各種行事等で住民を集めたりするために「寄せ太鼓」が使われた。リズムは「ドンドン、ドデドン、ドデドン、ドデンガドデドン」で、これを3～5回繰り返して、徐々に早打ちするものである。						
遺跡	街道・古道等	43	北条街道	—	三木から宍粟に通じる因幡街道の道筋上にあたる東西の主要街道。絵図や柳田國男の『故郷七十年』などから当時の様子を知ることができる。					

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり						
				①	②	③	④	⑤	⑥	
遺跡	街道・古道等	44	旧神西郡の南北道	—					●	
	その他の遺跡	45	旧福崎警察署跡	—					●	●
		46	妙真庵（寺）跡	—		●		●		
		47	新町大堤跡	—		●				
名勝地	河川・滝	48	市川	—		●				
		49	七種川	—		●				

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

新 町

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり												
				①	②	③	④	⑤	⑥							
動物・植物・地質鉱物	植物	50	イチョウ	—	七種橋の東端に位置する。樹齢は約300年、高さは約24m、目通り幹回りは4.3m。町内で見られるイチョウの中で最大のものである。 【町指定天然記念物】 【町指定保存樹】						●					
		51	新町公民館前のクロガネモチ	—	新町公民館前に位置する。 【町指定保存樹】						●					
その他	信仰の場	52	新町天満宮	—	学問の神様・菅原道真を祀る新町区の氏神。境内には、なでると頭が賢くなるといわれている牛の石像「なで牛」があり、その大きさは町内最大を誇る。									●		
	民間説話・地名・伝承地・屋号等	53	宮城野親方の墓	—	嘉永年間に造立された相撲部屋初代宮城野親方の墓があった。中国自動車道建設のために新町墓地に移転されたが、その際に墓石にヒビが入ったため墓標が新調された。										●	

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

歴史文化遺産の保存・活用の取組等

- ・ 自立（律）のまちづくり交付金事業を活用して、「しんまち交流広場」を整備、秋祭りや夏祭りで多くの人が集うことができるようになりました。また、新町天満宮学問成就PR事業を行い、中学生による清掃活動、チラシの作成・配布などを実施しています。



しんまち交流広場（看板手作り事業）



新町天満宮のチラシ